

## 実践報告会

# だれもが安心して暮らせるために地域でできること

～つながれ ひろがれ ちいきの輪 in TOKYO の取組みから～



1 日時 令和2年1月10日（金）14時00分～17時00分（受付：13時30分～）

2 会場 TYP市ヶ谷カンファレンスセンター3階3Aホール（新宿区市谷八幡町8）  
<交通アクセス> JR市ヶ谷駅から徒歩1分（改札を出てお堀を渡った向こう側）  
東京メトロ南北線7番出口から徒歩約1分

### 3 内容

だれもが安心して暮らせるまちづくりのため、都内の各地域の高齢者福祉施設では、地域の様々な方とともに、福祉や介護サービスが必要な高齢者だけではなく、地域によりそう幅広い取組みを展開しています。最初のきっかけは何だったのか、まずやってみたこととは、施設内や地域への理解をどう広げてきたか—実際の取組みをひも解きながら、多様な地域の方々が地域の一員として明日からできることを一緒に考える機会にします。

### 当日のプログラム（予定）

#### （1）4つの実践報告

【進行・コメント】 中島 修氏（文京学院大学 人間学部 人間福祉学科 准教授）

多世代交流の居場所づくり、訪問見守り活動、福祉や健康に関する学習会、認知症カフェ、町内会との防災訓練などの多様な取組みが今年度も「東京の高齢者福祉施設による、地域によりそうキャンペーン つながれ ひろがれ ちいきの輪 in TOKYO」参加してくださいました！キャンペーンに参加された事業所の方より、下記のテーマに沿って実践報告いただきます。

- ・地域のボランティアや施設の入居者の方とともに歩む取組み
- ・まちの多様な団体と連携した取組み
- ・施設のスタッフの強みを発揮し、施設や地域の理解を促した取組み
- ・施設の外に出て地域の声にアウトリーチした取組み
- ・施設の開放、スペースを活用した取組み

※詳細は次ページ参照



#### （2）情報交換

地域によりそい、だれもが安心して暮らせるまちづくりを目指すためにそれぞれでできることとは—都内の施設や地域の方々・団体から見える地域の姿を見つめ、今後の地域をよりよくしていくための取組みのヒントを得る機会とします。

4 対象 どなたでも

5 参加費 無料

6 お申込み 令和2年1月9日（木）までに下記ウェブサイトよりお申込ください。

東京都高齢者福祉施設協議会HP <http://www.tcsw.tvac.or.jp/bukai/kourei/>  
東京 高齢協議会 で検索！

※参加券は発行しません。当日直接会場にお越しください。

※当日会場の様子を撮影し、高齢協 Facebook や広報誌等に掲載する場合があります。

7 お問合せ先 東京都社会福祉協議会 福祉部 高齢担当（金子・野崎）  
TEL：03-3268-7172 FAX：03-3268-0635 メール：[kourei@tcsw.tvac.or.jp](mailto:kourei@tcsw.tvac.or.jp)

2019年度 つながれ ひろがれ ちいきの輪 in TOKYO 実践報告一覧

テーマ	区市町村	実施事業・イベント名	主催者	事業内容 発表のポイント	発表者
テーマ1 ちいきの事業所同士の連携	八王子市	第4回八王子介護フェア	複数施設共催	ソーシャルワーク機能を活かしたアウトリーチ事業を行うとともに、参加事業所の広報を行うイベントです。 ちいきの事業所が連携して行う経緯や連携の方法、また連携することの意義や効果などを発表いただきます。	鷹野氏（特別養護老人ホーム 偕楽園ホーム 副施設長）
テーマ2 多様な人々の参加	江戸川区	なぎさキッチン	なぎさ和楽苑	なぎさ和楽苑が開催する「地域の食堂」です。お子様から熟年者、子育て世代など、どなたでも参加できます。宿題や、遊びの時間もあり、世代を越えて交流できる場です。 ボランティアの方や、入居者様など多くの方が運営スタッフとしてかかわっています。そういった方がたとともに取り組むきっかけや意義などを中心に発表いただきます。	後藤氏（なぎさ和楽苑）
テーマ3 地域交流の意義	台東区	屋上菜園を通しての交流	フレスコ浅草	施設の屋上に菜園を作り、近隣の子育てファミリーと野菜や果物を育て、世代間交流を実施。土や作物に触れる機会の少ない子どもたちにとっても良い体験の場となっています。 高齢者福祉施設として交流の場を提供することの意義や、取組みを始めるきっかけなどを中心に発表いただきます。	石田氏・石橋氏（フレスコ浅草）
テーマ4 まちの多様な仲間たちとの連携	町田市	ビタミンカフェのつた	社会福祉法人 福音会	地域の憩いの場として認知症カフェを趣旨としながらも、誰もが気軽に集まれる居場所、交流の場として地域の多様な団体と連携して実施しています。 多様な団体と協働することで見えてきたものや、協働までの経緯などを中心に発表いただきます。	鈴木氏・戎氏（町田愛信園）